



LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

使い方いろいろ！  
貸出券を作って図書館を活用しよう

図書館の貸出券はもうお持ちですか？貸出券をお作り頂くと、資料を借りたり、電源席やオンラインデータベースなどの設備をご利用になれます。千代田区立図書館では、日本国内にお住まいの方ならどなたでも貸出券をお作りいただけます。



ご希望の方は「貸出券発行(変更)申込書」にご記入の上、ご本人様の確認ができるものと一緒に、登録カウンターへお持ちください。この機会に貸出券を作って、図書館を活用してみませんか。

※区内にお勤めの方が在勤の貸出券をお作りいただくにはお勤め先が確認できるものが必要です。詳しくは千代田区立図書館のホームページでご確認ください。

4月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

**2F パープルゾーン**  
「江戸の人々の暮らし」(～7/16) **NEW!**  
江戸の町の人々は、どのような暮らしを営んでいたのでしょうか。この時代には、独自の習慣が多数生まれ、中には現代まで受け継がれているものもあります。当時の人々の暮らしを豊富なパネルで紹介し、私たちがより良く暮らすためのヒントを探します。

**2F パープルゾーン**  
「新しい春の楽しみ方」(～4/30) **NEW!**  
今年とは違った新しい楽しみ方で、春の花を味わってみてはいかがでしょうか。今回の展示では様々な観点から春の花を楽しめるよう、写真撮影の方法に関する本や写生に関する本、春に合う和菓子の本などを用意しています。新しいお花見や自然鑑賞を模索するのも楽しいかもしれません。

**2F エレベーターホール**  
「2021.3.11—あの日をわすれないために—」(～5/14)  
2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。当時のことや復興の歩み、写真・文化財などの復元作業、震災から生まれたものを知ることができる資料を集めました。この震災の経験を今後に生かし将来の備えとして役立ててほしいと思います。

**3F ブルーゾーン**  
「目に見える思考-超現実・超常識-」(～6/18)  
「シュルレアリスム」から、日本において独自に進化した「シュール」「不条理」という概念までを紹介し、マグリットが語った『目に見える思考』を皆様楽しんでいただく展示です。

**3F グリーンゾーン**  
「癒しをさがして」(～5/14)  
本を読んで気持ちが軽くなったり、リラックスしたとすることはありませんか。文章に癒されるだけでなく、挿絵や写真を見て旅をした気分になったり、暖かい小動物に触れたような幸福感を味わったり…。展示をご覧になった方に、やさしく温かい気持ちを感じて頂けたら幸いです。

展示 PICK UP

■3Fブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ～6月18日(金)

目に見える思考  
-超現実・超常識-

私たちが使う「シュール」という言葉の語源は「シュルレアリスム」から来ています。但し、この2点は「似て非なるもの」であり、本来の意味合いは違います。この展示では「シュルレアリスム」から、日本において独自に進化した「シュール」「不条理」という概念までを紹介。奥深い「シュルレアリスム」の世界をどうぞお楽しみください。



『マグリット 光と闇に隠された素顔』  
● 森 耕治 著  
● マール社  
● 2013年



『澁澤龍彦の記憶』  
● 菅野 昭正 編  
● 巖谷 國士 (ほか) 著  
● 河出書房新社  
● 2018年

**教えて！図書館用語** (増補版)  
本誌『ポモージュ』2018年3月号まで続いた「教えて！図書館用語」のコーナー。欄外でひっそりと続けられていた幻のコーナーです。読んでくださった方にも、初めてご覧になる方にも分かりやすいように、過去に掲載した用語をもう一度ご紹介していきます。※掲載は不定期です。

**【禁帯出(禁帯)】**  
きんたいいしゅつ(きんたい) **禁帯出** ラベル

**資料**を図書館外に持ち出すことを認めないこと。対象の本は「禁帯本(きんたいぼん)」と呼ばれ、貸出しは行わず、館内での閲覧に限定している。資料の背に赤いラベルを貼り、貸出可能な資料との違いを明確にしている。一般的に辞書や事典、目録など調べものの参考図書や、高価な資料が多い。

参考:『最新 図書館用語大辞典』P101/図書館用語辞典編集委員会 編/柏書房/2004年

展示で発見!  
本と出合う春

出会いの春。新しい季節、新しい人たち、新しい環境や場所…そして、今年の春は日比谷で本と出会いませんか？各フロアで多彩なテーマの展示を数多く行っている日比谷図書文化館は訪れるだけで本と出合える場所。展示は新しい本、新たな読書の楽しみ、知らない世界への発見など皆さんの好奇心を誘う入口です。

【図書フロア】

4つのゾーンからなる図書フロア。各ゾーンのテーマに沿った企画展示を定期的開催しています。メイン展示のほかにも各所で様々な展示を展開。展示の内容は裏面の「Librarian's Letter 図書フロアからのお知らせ」をご覧ください。



2・3F

● Librarian's Pick

旬な出来事や、各ゾーンの特色を生かした特集展示です。担当司書の個性が表れたコーナーで興味関心に沿ったテーマを探してみてください。



● 今日の一冊

その日の出来事や話題にあった本を毎日展示。1日で本が入れ替わる贅沢な展示です。



● SDGs 持続可能な未来をつくる本棚

SDGs(持続可能な開発目標)の理解を深め、目標達成に向けて参考にしてほしい約350冊を目標ごとに分類し、関連資料と並べています。持続可能な未来への課題や行動するきっかけを見つけてみてください。



▶ 図書フロアでは他にも様々な図書展示をおこなっています。

【特別研究室】4F

所蔵されている内田嘉吉文庫を中心とした貴重な資料を紹介する企画展示を年4回開催。4月20日(火)からは「内田嘉吉文庫に見る渋沢栄一とその時代～明治・大正期の近代日本～」を開催！詳細は中面をご覧ください。



展示をみて、お出かけ【常設展示室】1F

「江戸・東京の成立と展開」をテーマに、1万年以上前の旧石器時代から近現代までの千代田区の歴史を実物資料や映像などで、5つの時代にわけて紹介。展示を見たら今も残る千代田区内の歴史的な場所を訪ねてみてね♪



バーチャル侍による江戸城の儀式案内も必見です！

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2021年 4月							2021年 5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	2	3	4	5	6	7	8
4	5	6	7	8	9	10	9	10	11	12	13	14	15
11	12	13	14	15	16	17	16	17	18	19	20	21	22
18	19	20	21	22	23	24	23	24	25	26	27	28	29
25	26	27	28	29	30		30	31					



access  
〔都営地下鉄〕  
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
〔東京メトロ〕  
●丸の内線  
●日比谷線  
「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分  
●千代田線  
JR「新橋駅」徒歩10分  
※当施設に駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

「千代田区立図書館からのお知らせ」は中面に移動しました。

▶▶▶ 館内では常時マスクをご着用ください。入館の際は、手指消毒・検温・入館票のご記入をお願いします。

# 4・5月の講座

「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

4/8 (木)

## 文学作品にみる100年残したいことば ～辞書編集者を悩ませる、日本語⑧

講師：神永 暁(国語辞典編集者)

陶然、まばゆい、いたいけ、冬ざれ、朋輩……辞書編集者が用例採取のために読んだ漱石、芥川、鴎外、太宰、池波正太郎などの小説から、100年後の日本に残しておきたい言葉をピックアップします。味わい深い日本語から日本文学を見つめ直します。(主催：ネットアドバンス、共催：日比谷図書文化館)



- 日時：4月8日(木)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

4/15 (木)

## 江戸歴史講座 第70回 江戸の寺社とパワースポット

講師：滝口 正哉(立教大学文学部特任准教授)

人口100万人を超える大都市江戸は寺社の数も多く、現代よりも身近な存在でした。そして18世紀以降になると、さまざまな願いに対応する神仏が登場しました。今回は江戸の人々が信仰していた代表的な神仏を取り上げ、その独特な祈願方法や当時の時代背景、文化的な意義についてご紹介します。



- 日時：4月15日(木)14:30～16:00(14:00開場)
  - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
  - 定員：60名 ■ 参加費：1000円(千代田区民 500円)
- ※1月20日(水)の講座が延期されたものです。

4/24 (土)

## まちづくりの専門家が語る 看板建築 まちの暮らしとともにあるアキナイ建築

講師：萩野 正和(株式会社connel代表取締役)

大正から昭和にかけて個人商店の一形式として数多く生まれた「看板建築」。日常の風景としてまちを形づくっていた建物は、時代の変遷に伴い数を減らしながらも、今もまちに息づいています。生活様式が劇的に変化する今、まちづくりの専門家が「看板建築」とまちや暮らしの関係性、その魅力を紐解きます。



「岡昌裏地ポタン店」(千代田区神田須田町)©金子裕史

- 日時：4月24日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

4/28 (水)

## 江戸歴史講座 第71回 芭蕉のことば遊び～しゃれを用いた句

講師：深沢 眞二(連歌俳諧研究者・文学博士)

日本古典文学を読む上で、「掛け言葉」「秀句」「しゃれ」などと呼ばれる、同音異義語を利用して詩歌が多重の意味を含むようにする技法の理解は重要である。見過ごされがちだが、芭蕉もそれをよく用いていた。芭蕉発句から「水とりや氷の僧の杵の音」ほかを取り上げ、新たな読み解きを試みる。



- 日時：4月28日(水)14:00～15:30(13:30開場)
  - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
  - 定員：60名
  - 参加費：1000円(千代田区民 500円)
- ※1月27日(水)の講座が延期されたものです。

4/30 (金)

## ～星のソムリエが語る～ もうひとつの地球を探して

講師：皆川 敏春(星のソムリエ@mিতか)  
北崎 直子(星のソムリエ@mিতか)

満天の星空を眺めていると、もしかしたら地球と似た惑星があると思ったことはありませんか？ 続々発見される太陽系外惑星の中には、地球とよく似た惑星も見つかっています。近い将来、人間が移り住めるような惑星も発見されるのかもしれませんが。今回はそうした「もうひとつの地球探し」の旅に出てみましょう。



撮影：皆川 敏春氏

- 日時：4月30日(金)14:00～16:00(13:30開場)
  - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
  - 定員：60名
  - 参加費：1000円
- ※2月17日(水)の講座が延期されたものです。

5/8 (土)

## 千代田区民講座 元特命全権大使が語るモンゴル！

講師：清水 武則(元在モンゴル日本国特命全権大使)

1977年から日本大使館に勤務し2016年に退官するまでの間、モンゴルに赴任すること4回。歴代で最もモンゴルを熟知した大使として知られています。教育・文化などの分野での数多くの受賞に加え、モンゴルの最高位勲章に当たる「労働功労赤旗勲章」を日本人として初めて受章しています。交流の懸け橋として尽力された講師に、モンゴルの生活や文化などについてお話しいただきます。(主催：NPO法人神田雑学大学、共催：日比谷図書文化館)



Photography Bayara 2016

- 日時：5月8日(土)14:00～15:30(13:30開場)
  - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
  - 定員：60名 ■ 参加費：無料
- ※3月25日(木)から千代田区民受付開始。区民以外の方は4月1日(木)から受付開始。

5/11 (火)

## 近代国家の礎となった伊能図 —明治期の伊能図の利用—

講師：菱山 剛秀(伊能忠敬研究会 代表理事)

江戸時代に伊能忠敬等によって作られた「大日本沿海輿地全図」は、一般に「伊能図」と呼ばれ、文政4年(1821年)に完成し、幕府に上呈されました。今年には伊能図完成から200年目の節目に当たりますので、伊能図がどのように使われたかを振り返り、伊能図が作成された意義を再確認します。



第三軍管図(『陸地測量部沿革誌』【復刻版】(不二出版、2013)附図より)

- 日時：5月11日(火)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円

5/10 (月)

こどもの読書週間 in 千代田区立図書館「ヨムキクちよだ2021」

〈大人のための絵本講座〉

## 絵本から広がる!! ～表現と社会へのまなざし～

講師：児玉 ひろ美(JPIC読書アドバイザー)

絵本は赤ちゃんからお年寄りまで、クロスオーバーな読者を持つ、数少ないメディアの一つです。文学が膨大な文字数を使って表現することを、絵本は一瞬で読者に伝え、その表現方法は可能性に満ちています。お子さんへの絵本選定の最初の一步は、自分で感じる事。好奇心の扉を開く絵本、見つけませんか？(お好きな絵本を1冊お持ちください)



- 日時：5月10日(月)14:00～15:30(13:30開場)
  - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
  - 定員：40名 ■ 参加費：500円(千代田区民 無料)
- ※申込開始：4月5日(月)

予告 特別研究室 ● 企画展示

## 内田嘉吉文庫に見る 渋沢栄一とその時代 ～明治・大正期の近代日本～

内田嘉吉は渋沢栄一と共に日米間に海底電信線の敷設を計画するなど関わりが深く、内田嘉吉文庫には日本経済の礎を築いた渋沢栄一の資料が多く残されています。今回の企画展示では所蔵の渋沢栄一関連の資料を展示すると共に、近代化により変わっていく明治・大正期の風景などをパネルで紹介いたします。



海運橋第一銀行(「東京大日本名勝之内」/勝山繁太郎画/美術着色会社/1891年)

- 期間：4月20日(火)～6月30日(水)
- 場所：4階特別研究室

入場無料

- 主な展示図書(予定)
- 『渋沢栄一滞仏日記』(1928年)
  - 『第一銀行五十年小史』(1926年)
  - 『日米間海底電線布設費概算及同草案』(1919年)
  - 『東京株式取引所五十年史』(1928年)
  - 『風俗画報』臨時増刊226・236号(1901年)

From Chiyoda Public Library

千代田区立図書館からのお知らせ

## 展示 ビジネスを鋭く発想する セカンドオフィス テラマックス

いま読んでおきたいビジネス書を、「ビジネスモデル」「マーケティング」「スタートアップ」などのテーマに分けて書評とともに紹介。その他ビジネス関連本と合わせて約100冊を展示・貸し出します。



- 会期：3月29日(月)～6月26日(土)
- ※4月25日(日)、5月23日(日)は休館
- 場所：千代田図書館9階 展示ウォール

■ アクセス

【千代田図書館】  
東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線  
「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分



https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/chiyoda/